

一井あきこ

い
ち
い

一井あきこを応援する会



従業員を守りたい、
だから歯を食いしばる。

田舎で暮らす母のこと、
毎日気になっている。

自分のためにも立ち上がる。

泥まみれになっても、
やり遂げてもらいたい。

僕も覚悟を決めた。
もう迷わない。

岡山県を愛する皆さん、

今のままで、いいですか？
これまで通りで、いいんですか？
新しい時代に挑戦した県と、何にもしなかった県は、
4年後、必ず大きな差がつかます。
よそと同じことをしとって、ダメ。
答えは、誰も、教えてくれません。
だから、チャレンジしよう。
たくさん失敗して、何度もやり直さんと、
新しい成功なんか、生まれん。
あきらめずに、足掻いて、もがいて、
一歩でも前に進もう。

私は、逃げません。
夢みたいなことも、言いません。
24時間 365日、
全ての力をふりしぼって立ち向かいます。
「しごと」をおこし、「人」をつくる。
やるべきことは、この2つ。

しがらみを断ち切って、
必ず、やり抜きます。

一井あきこ



一井あきこに寄せられた声

一井あきこ様、
この度の決意、に感動しております！
大変な覚悟、すばらしいです...
肝、五知事
岡山の頼れるお母さん
めざしここに参ります！！

一次産業で稼げたり、ドイツのマイスターみたいな職人さんの地位が向上するような仕組みが出来るといいなあ。 /村上さん

政策や思いを熱く語る姿の中に、女性らしい細やかさと岡山の未来を思う強さや、県民を心から大切にしている気持ちが伝わってきました。 /国友さん

厳しい自然の中で笑いながら幸せに生きる。社会的にも経済的にも見捨てられかけている地域にもっともっと光を当ててください。 /佐藤さん

仕事を創っていいと思う。っていうか、ちゃんと見通しを持って、仕事になることがいっぱいある。 /伊藤さん

いつの間にか、まちづくりは誰かがしてくれると考えるようになってます。基本はそこに住む人たち！我がまちも、まずは自分が動くことを考えたい。 /三上さん

子育ても時に空しくもなり、悲しくもなる。でも大事な人のために大事なことをしていると、元気で自分に戻る。一井さんも同じなのは。 /海野さん

県民と県民との距離感を縮め、新しい思考で時代を切り拓く、新しいリーダーが求められている。我々も変わっていかねばなりません。 /山川さん

税金に依存する仕事はいらない。税金をきちんと納める事業を興してください。 /戸田さん

一井あきこ様
この度は、大層な決意をされたのですね。
県民のひとりとして、とても心強く、嬉しく思っています。
「地域が元気になる」を目標に、頑張ります。
私も、微力ながら、お手伝いさせていただきます。 /やらせてください。

ひとりひとりの「思惑」ではなく、「希望」に光を照らす政治を願います。 /安井さん

中小企業はもがいています。企業誘致だけでなくまちづくりすべてに、住みたい住み続けたいと思う発想を行政や市民が意識することが大切。 /河内さん

住民の痛みをじかに知ることは首長としての要になります。 /松本さん

例えば100万円の仕事を4つ。そういう稼ぎ方があっていいはずで、だからこそ「百姓」というのだろう。 /原田さん

2012年2月27日
旧阿波村にて撮影

一井あきこのプロフィール

1970年1月22日 岡山市生まれ **42**歳

学校	仕事
岡山聖園マリア幼稚園卒	参議院議員一井淳治(父)秘書
岡山市立弘西小学校卒	地中美術館(直島)勤務
岡山大学教育学部附属中学校卒	NPO法人(設立申請中)
広島大学附属福山高等学校卒	「まち・むらコンシェルジュ岡山」代表
東京大学法学部中退	日本フェイスブック学会長補佐官
放送大学教養学部卒	

岡山県議会議員 2期

行財政改革・道州制等特別委員会(副委員長) / 総務委員会 / 議会運営委員会 / 子ども応援特別委員会 / 決算特別委員会 / 生活環境保健福祉委員会 / 地域振興・観光・金融・雇用対策特別委員会



facebook [一井あきこ]に友達リクエストをしてください!

一井あきこを応援する会
お気軽にご連絡ください。

電話 086-206-3666 FAX 086-206-3663 住所 〒700-0808 岡山市北区大和町 1-13-8
メール links@ichii-akiko.net ホームページ www.ichii-akiko.net

討議資料

2012年2月14日の記者会見から4ヶ月、 一日も休まず、車で24,000キロ以上走り、 県内の8000を超える現場を見てきました。

一井あきこの
スタートは
県北から

地域が大事 現場主義

人に会う。くらしに触れる。
仕事場に入る。思いを伝える。
話を聞く。固い握手を交わす。
笑顔や涙がたくさんあった4ヶ月。
まだまだ歩き続ける。

出発点は、新庄村。
出発点は、新庄村に決めました。旭川の源流、県内で一番規模の小さな村です。雪の深さ、除雪や屋根から落ちる雪、車の装備、服や靴…。今日も、熱い人たちにたくさん出会いました。

必ず岡山県は農業で伸びる。
今日は、農業の可能性を長く広い視野から見据え、従来通りのやり方を疑い、自分の手で新しいやり方を産み出し、実績をあげている方々と会うことができました。作っているものや、始めた時期は違いますが、農業や食の大切さと、産業としての成長性への思い、認識は同じ。やり抜く強さも共通しています。一緒に変えれば、必ず岡山県は農業で伸びる。必ず。

訪問介護の現場に伺いました。
今はやはり、4月からの介護報酬改定の影響の話が多いです。時間が短くなったことで、ヘルパーさんも大変、利用者さんからも「ヘルパーさんと話せなくなった」など、苦情が出ている、など。ヘルパーさんの収入への影響も予想されます。施設と在宅の違い、お家の間取りやリフォームによる苦勞や工夫、利用者さんとヘルパーさんの関係など、話は尽きませんでした。現場の声で、国の制度を変えさせるのも、県の役割です。

山は県民の財産です。
林業の現場の話、じっくり聞きました。中でも、山を愛し、誇りをもって、山主のための施業をしている方々とは、長い話になりました。どんな山をつくっていくのか、どこにお金を使えば生きるのか、木材の出口をどうするか…。「補助金のための施業や、業者のための政策じゃあいけん。」「自分の山じゃたらせんような仕事をしたらおえん。」山は県民の財産です。そこから、考える。

子どもたちに手渡せる未来を。
赤ちゃんがいると、なんだか笑顔になります。どうしているか気になるし、泣き出したら「どしたん、どしたん？」それって、子どもが皆の宝物だから。この子たちに「お母さんたち何してくれたん！」と言われない岡山県にしたい！

先人に導かれながら。
旧の大佐町は、山田方谷さんが晩年を過ごし、亡くなった土地です。小阪部塾を開いて人材を育て、そこで門弟に見守られながら永眠しました。地域資源を活かし、地域に根ざした産業を興し、大きな利益を生み出した手法。「藩の生産物を江戸でさばく」やり方。人材の育成。生産者を大切に育てる「撫育」。まさに思いが重なります。岡山県の誇る先人に導かれながら、道を進みます。

人が、岡山県をつくっている。
移住して、地元の方の仕事を継ぐ若い夫婦と女の子。「結束が固い部落だって誇りにしとるから、それを守っていきたい」。地元を愛し、資源に感謝し、他にはない存在になって、トップランナーであろうとする人。「自分で地元を何とかしたいと思えば、仕事はあるし、作れる。」大阪から帰って、技術と経験を活かしたものづくりに取り組む町工場のおじさん。「こんな山の中で世界的な仕事をしょおる会社や、岡山県にはたくさんあるんで。」スゴいです！岡山県。

決して、忘れない。
まだ雪が残っている地区がありました。一番奥で、自然も厳しく、不便なところ。その大変さやつらさ、それにも関わらず放置されている、と悲しい怒りを強く言われる方も多くおられました。「こんなところに住んどのが悪い、言われた。年寄りはそのうちおらんようになると思えるんじやろう。」諦めや絶望。逃げずに、向き合い続ける。「忘れない」と約束しました。

私たちのふるさと(旧78市町村)

新庄村、西栗倉村、美作市(勝田町、大原町、東栗倉村、美作町、作東町、英田町)、真庭市(北房町、勝山町、落合町、湯原町、久世町、美甘村、川上村、八束村、中和村)、鏡野町(富村、奥津町、上斎原村、鏡野町)、新見市(新見市、大佐町、神郷町、哲多町、哲西町)、奈義町、勝美町、津山市(津山市、加茂町、阿波村、勝北町、久米町)、吉備中央町(加茂川町、賀陽町)、高梁市(高梁市、有漢町、成羽町、川上町、備中町)、美咲町(中央町、旭町、榑原町)、久米南町、井原市(井原市、美星町、芳井町)、矢掛町、和気町(佐伯町、和気町)、備前市(備前市、日生町、吉永町)、浅口市(金光町、鴨方町、寄島町)、笠岡市、里庄町、瀬戸内市(牛窓町、邑久町、長船町)、赤磐市(山陽町、赤坂町、熊山町、吉井町)、総社市(総社市、山手村、清音村)、早島町、玉野市、倉敷市(倉敷市、船穂町、真備町)、岡山市(岡山市、御津町、建部町、瀬戸町、瀬崎町)

雇用1万人 やっぱり、人

意欲と誇りをもって働ける「しごと」を、
地域の中でおこします。

- 農林業** 買ってもらえるものを作り、売る産業にします。岡山県独自の戦略を立て、実行します。
- 中小零細企業** 現場が望むサポートを、一緒に考え、すぐやります。本音で付き合い、新しい事業や製品・商品を生み出す場やネットワークをつくります。

ふるさとを愛し、地域の伝統や文化によって
培われた心の軸を持つ「ひと」を育てます。

- 対話力やコミュニケーション能力が身につく授業を始めます。
- 校門を入ったら、全て英語で学ぶ高校を1つ新設します。
- もっと楽しい情報や機能があふれる図書館にします。

様々なデータを分析してみると、岡山県の意外な現状が...

データ1 事業所の99%は中小企業。中小企業が岡山を支えている。

岡山県内の事業所の99%は、中小企業。雇用者数で見ても、8割は中小企業が雇用しています。岡山の地域経済を支えているのは、地域の中小企業なのです。

【全事業所民営に占める中小企業の割合等】

事業所	雇用者数
中小企業	620,481
割合(%)	80.1
大企業	154,428
割合(%)	8.9

データ2 若い農業者がとても少ない岡山は、農業県とは言えない。

55歳未満の農業従業者の割合

地域	割合
全国	16.3%
北海道	46.2%
東北	15.7%
北陸	9.1%
関東	15.9%
東海	13.9%
近畿	13.4%
四国	14.5%
九州	20.5%
沖縄	22.7%
中国	6.3%
岡山	6.2%

データ3 高卒の県外就職者の多くが「広島」へ。せつかく育った「人」が出て行く。

【高校卒業後の県外就職先】

高校を卒業して就職する際に、県外に出ていく先の第1位は、驚くことに広島県。44%です。これらを合わせると39%、4割に近づきます。

なぜ隣県に流出してしまうのか、原因を分析して、むしろ他県から岡山県内に入ってくる数を増やします。

県外就職先TOP5	割合
広島	44%
大阪	15.2%
兵庫	12%
東京	6.5%
愛知	5.3%
その他	17%